

Oxbridge 研修を終えて

森永 耀平

●Oxford でのおおまかな 1 日の流れ

7 : 0 0 ~ 8 : 0 0	起床・集合
8 : 0 0 ~ 9 : 0 0	朝食
9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0	活動
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	昼食
1 3 : 0 0 ~ 1 8 : 3 0	活動
1 8 : 3 0 ~ 1 9 : 3 0	夕食
1 9 : 3 0 ~ 2 1 : 3 0	活動
2 1 : 3 0 ~	入浴・自由・就寝



●Cambridge 大学でのサイエンスフェスティバル

3 日目であるこの日は、Cambridge 大学で行われるサイエンスフェスティバルに参加して来ました。ここでは班で見たい分野のところに行きました。フェスティバルとはいっても色々な講義をうけ、私たちにとって身近なものから理解するのが難しいものまで、様々な種類の体験をすることができました。体験の方は、学生が説明の際に実際に使うものを見せ、分かりやすいジェスチャーを用いてくれたおかげで、私でも理解することができました。様々な場面で、Cambridge 学生のプレゼンテーション能力が高いことに驚きました。同時にこのようなプレゼンテーションができるようになるために努力しようという気持ちもわきました。

●ロンドン市内観光

6 日目であるこの日は、ロンドン市内観光をしました。移動はバスで、大英博物館、自然史博物館、科学博物館を、何人かでグループを作りそれぞれが回りたいところを回ったり、お土産を買ったりしました。私たちが訪れたときは、現地の学校などが休みでたくさんの外国人学生がいました。この3つの博物館の中で一番すごかったのは、大英博物館でした。大英博物館は展示物がたくさんあり、1 時間半弱ではとてもまわりきれず、ごく一部のものしか見ることができなかつたので残念でした。しかし、研修に行く前から楽しみにしていたロゼッタストーンなど、資料集に載っていたものを直に見ることができ、質感や雰囲気を感じられてとても感動しました。他にも、ガラスケースに入っていない展示物が多かつたのでとても驚きました。



●まとめ

実際に海外に足を踏み入れてみて、日本の良さに気付くことができました。イギリスはスケールが大きく、町並みがとてもきれいでした。行ってみるとここに住みたいと思う瞬間が何度かありました。しかしながら、日本にはイギリスに負けない良い所がたくさんあることに気付きました。日本の食べ物は美味しく、技術力は世界に通用するものがあります。そして、素晴らしい伝統と海外にはない文化があります。日本から出ると改めて日本は良い国だと思いました。日本にいる私たちは自分たちが思っている以上に恵まれていました。“物事を相対的に見る。”この言葉は4日目に岡本さんが私たちに教えてくれたことです。当たり前のことを違う視点から見る。そのためには一旦違う環境に身を置いてみる。そうすると今まで気付けなかった日本の良い点に気付くことができ、より一層日本を誇りに思うことができました。

今回の研修で学んだことは、自分の見ている世界の小ささと、母国である日本の存在です。実際に海外に足を踏み出すことにより、そのスケールの大きさ、世界の広さを実感するとともに、自分についてより深く理解することができました。この研修のコンセプトは“生き様研修”でしたが、その通りで、世界で活躍できる人材とはどういった人か、そしてこれからの長い人生においてどのように生きればいいのか、など自分の生き方を考えさせられる内容でした。この研修に参加する意義とは、世界の一片に触れることができることだと私はこの研修を通じて考えました。この経験はきっと将来において必ず役に立つと思っています。

